



マムシグサの花に
エゾハルゼミの抜け殻が

達人の旅指南 ②4

フリーライター 加藤 隆悦

みちのく

ココロとカラダの

癒し旅

秋田県小坂町 十和田プリンスホテル

正統派避暑地の系譜

日本を代表する避暑地といえは、信州の軽井沢が挙げられる。軽井沢に最初に着目したのは外国人宣教師たちだった。宣教師の伝道の仕事の「年度」は九月から六月までであり、七月八月は休暇にあてられていた。明治十九年に軽井沢を訪れたイギリス人宣教師A.C.シヨは、故国の風土に似ていた軽井沢を気に入り、自ら別荘を建て、宣教師たちの交流の場所とした。それが今日の避暑地、軽井沢の歴史の始まりだった。

十和田湖の西湖畔も、これと同じような歴史をたどっている。大正時代の中ごろ、秋田市で布教していたアメリカ人宣教師アンデレス司祭は、十和田湖西湖畔の秋田県小坂町銀山に丸太小屋を建てて毎年の避暑地と定め、同じ西湖畔の大川岱に礼拝堂も建てた。この礼拝堂はのちに現在の小坂町鉛山の地に再建され、今も湖畔の深い木立の中にひっそりとたたずんでいる。対岸の休屋地区のにぎわいとは対照的な西湖畔の静寂が意味するものは、異国生まれの聖職者たちが避暑地を選んだことから、その価値を知ることができるだろう。



発荷峠展望台と十和田湖

しっとり大人のリゾート

国立公園内にある十和田湖の中でも西湖畔一帯は、環境保護、景観重視の観点から建築関係の規制が厳しく、そのため観光地らしい華やかさはない。わずかに民宿が点在する程度である。

この西湖畔に十和田プリンスホテルが開業したのは昭和五十二年。規制の関係もあつて、建物は二階建て、色調も地味めで、そのたまたまは至って控えめ。しかし、実はこのホテルこそ、外国人宣教師が軽井沢や十和田湖を避暑の地に選んだ理由を私たちに納得させてくれる、もっともシンボリックな「十和田湖のリゾートホテル」と、言

えるのかもしれない。

館内に入るとまず、ダイニングルームやラウンジの大きな窓が目につく。窓からは、丹念に手入れされた芝生越しに木々の間から湖水が眺められる。他に目につく人工物はない。このシチュエーションだけでも、心安らぐ。ラウンジでコーヒーを飲んだり名物のアップルパイをつまんだり、あるいは読みたかった本を持参して読書で心静かなひとときを過ごしたい。ダイニングルームからの眺めも、食事をいっそうおいしくさせ、同伴者との会話を弾ませるだろう。ことに、夏場は夕食時でも外には残照があり、暮れなずむ十和田湖の水面を眺めながらのディナーは、このホテルでなければ味わえない別格のものだ。



◀十和田プリンスホテル名物のアップルパイ。ファンも多い
▼赤松の丸太をつかった古民家風の梁(はり)をもつラウンジ。こういうぜいたくな建て方は今は不可能に近いとか



▲朝夕の食事はダイニングルームで湖を眺めながら
▶ホテルの庭のブナの木に実がびっしり。今年にはブナの実の当たり年



景観上の規制のため、低い建物になっている十和田プリンスホテル



▲稲庭うどんの
パスタサラダ

▼ヒメマスのムニエル
エシャロットソース(ヒメ
マスは漁獲が少ないの
で要問い合わせ)



▲フィステーキ 和風ソース

▼魚介の盛り合わせ。
パイでつくった
「乙女の像」がア
クセント



▲オードブルはハタハタずし、
比内地鶏、ニジマスなど、秋
田・青森の珍味が集められた



今年7月8日に待望の天然温泉大浴場が完成。湯船から湖と星空が眺められる

客室は全室バストイレ付きで、開業
当時は画期的なせいたくな造りであ
ったようだが、この記事が出るころに
はいよいよ念願の温泉大浴場が完成
している。カルシウム・ナトリウム・硫
酸塩泉の天然温泉で屋根のかかった半
露天風呂だ。湖に面しているのはもち
ろん、屋根を高くして星空を仰げるよ
うにしたというのも、いかにもこのホテ
ルらしい趣向だ。

宿が素晴らしいからというだけで泊ま
りにいくのではなく、主役はあくまでも心
身をリフレッシュさせようとする宿泊客自
身。ホテルはその宿泊客のリゾートステイ
をサポートする裏方のような存在。そん
な、人とリゾートホテルの関係を大切にし
ている、とても希有な宿だ。



ホテル前に2面のテニスコートがある



ムーディーなツインルームがリゾート
気分をかき立てる。湖側と山側の2タ
イプがあり、山側の部屋が料金は格
安だが、オススメはレイクビューの部屋



朝の自然観察を楽しもう

十和田プリンスホテルでは、毎朝六時から「早朝自然観察会」を催している。参加費300円でもちろん自由参加だが、これにはぜひ参加したい。自然観察指導員のガイドで湖畔を約一時間かけて散策するのだが、早朝の湖畔のすがすがしい空気の中、足もとの草花の珍しい生態や興味深い話をたくさん聞かせてもらえる。十和田湖の自然の豊かさ、奥深さを実感することも、とても幸せな思い出づくりができるひとときなのだ。

(文・写真)かとうらゆ(えつ)秋田市



TOWADAPRINCEHOTEL

施設のご案内

- 客室 66室
- 駐車場完備
- 温泉露天風呂
- 宴会場「プリンスルーム」(50名様収容)
- メインダイニングルーム
- メンバー(季節営業)
- ロビーラウンジ
- テニスコート2面(ハード)

お一人様 1泊2食付き

2名様 11,500円より(税・サ込)

3名様 10,500円より(税・サ込)

※2005年営業期間 4月23日～11月5日



立ち枯れの木にキツツキの仲間があげた穴が無数に



ホテルでつくったマップを参考に散策しよう



自然観察指導員が同行する早朝の湖畔散策は新鮮な発見の連続!



深い緑の中にぼつんとたたずむ礼拝堂。十和田湖西湖畔のシンボルだ



自然観察指導員の興味深いガイドに参加者はくぎ付け



散策路にはかわいい落とし物がそこここ。これはトチの花

十和田プリンスホテル

〒018-5511
秋田県鹿角郡小坂町十和田湖西湖畔
TEL.0176-75-3111 Fax.0176-75-3110
HPアドレス www.princehotels.co.jp/towada



散策の後の朝食はまた格別。和食と洋食、好きな方をチョイスできる